Ｒ８年度訓練計画について「防災安全課」

「資料１」

令和８年５月１２日時点

			災害種目		訓練内容 種別	訓練主体	参加機関 規模（人数等）	訓練内容 現在の取組	時期・回数	Ｒ８年度 実施計画(案) 実施時期 ※概ねの時期を記載 ●：Ｒ7実績あり ★：新規・拡充											
										４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
1	地域防災計画に基づく事象	1	複合災害対策	原子力　地震　津波	原子力防災訓練	原子力規制庁・鹿児島県・薩摩川内市ほか	【参考】 令和7年度 約220機関 約4,000人	・災害対策本部設置他各種訓練	年１回												●	
		2	複合災害対策	地震等	総合防災訓練	薩摩川内市、関係機関	薩摩川内市 関係機関		隔年						★						
		3	原子力災害対策		原子力防災訓練 （引き渡し訓練）	薩摩川内市教育委員会	市立幼稚園・小中学校・義務教育学校	・各学校における引渡し訓練	各学校 年１回		９日：城上小、樋脇小、市比野小、祁答院小、里小、中津小、手打小、長浜小、鹿島小、川内北中、平成中、樋脇中、祁答院中、里中、海星中 11日：高来小	7日：八幡小 13日：亀山小、川内小、隈之城小、平佐西小、平佐東小、水引小、永利小、峰山小、育英小、入来小、副田小、川内中央中、川内南中、水引中、入来中	11日：可愛小、東郷学園義務教育学校									
		4	一般災害	暴風、豪雨、豪雪、洪水、その他の異常な自然現象又は大規模な火事若しくは爆発その他	川内川総合水防演習	国土交通省九州地方整備局・鹿児島県・伊佐市ほか		・水防工法の実施 ・住民避難訓練	５月 年１回		17日 （見学）										
					一般災害机上訓練 （大雨）	防災安全課	【参考】 令和7年度 本部要員　23人 詰所長、副詰所長 104人 防災安全課ToDoリスト確認	・警報等発令の際の防災体制及び業務確認 ・本部要員詰所要員への通信訓練 ・防災安全課ToDoリスト確認	4月から5月 年1回		11日										
					各機関通報訓練	（１）九州電力通知訓練 （九州電力） （２）鶴田ダム緊急放流通報訓練 （鶴田ダム管理事務所） （３）Lアラート合同訓練 （鹿児島県）	（１）九州電力 （２）鶴田ダム管理事務所 （３）県・放送業・新聞業・情報通信業（Lアラート）	・FAX受領確認、メール受信確認、受領後の作業確認	随時 年1回以上	１６日～１７日 鶴田ダム緊急放流通報訓練	●							九州電力とのFAX通信訓練		
					避難所運営訓練	防災安全課 各協定事業所	１協定事業所	・避難所運営 ・段ボールベットの組み立て配置 ・非常食の作り方 ・スマコミライトの使用方法	随時		14日 協定避難所 運営訓練				● 指定避難所 運恵右訓練						
					自主防災組織訓練	自主防災組織等	【参考】 令和7年度 訓練関係 25団体　963人 出前講座 15回　1,427人	・避難訓練 ・防災講話 ・消火訓練等	随時	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		4	特殊災害対策	林野火災、海上災害、鉄道事故、道路事故、危険物災害等	特殊災害	防災安全課 消防局 関係機関	防災安全課 消防局 関係機関	総合防災訓練で実施	検討						★						
		5	地震災害対策		シェイクアウト訓練	薩摩川内市	【参考】 令和7年度 32団体（個人・企業・自治会・学校等） 5,190人	・訓練放送による安全確保の行動	毎年 ３月												●
		6	津波災害対策		津波対応訓練	コミュニティ協議会・自治会・自主防災組織	【参考】 令和７年度 4団体　357人	・高台への避難訓練	随時						●		●			●	●
2	国民保護	7	国民保護計画避難対策		全国瞬時警報システム（Jアラート）伝達試験訓練放送	国	全市民	・訓練放送・通信訓練 ・国民保護情報（弾道ミサイル）緊急地震速報、津波警報等	年6回			２回		●			２回			●	
3	危機管理	8	危機管理訓練	自然災害以外	危機管理事象	庁内（各部・担当、関係課）	防災安全課 主管課 関係機関	・机上訓練（連絡体制等）	検討				●				●				

別紙「資料１－４」防災に関する講座、訓練実施状況及び実施予定

※訓練内容及び実施時期については変更となる場合があります。